

# 町政を問う!



吉村 忍 議員

## 病院事業について

### 職員の意識改革について

**問** 管理者は、議会全員協議会や住民説明会、職員説明会で再編計画には職員の意識改革が必要だと発言した。その発言後、職員の意識を改革するため、どのような取り組みを行ったか。また、再編計画が実行される4月以降はどのような取り組みを行うのか。

**答** 意識改革について、病院長会議や、病院・介護老人保健施設に直接出向き、医局会議や院内会議で必要性を説明した。

特に病院においては、急患の診察依頼があった場合は、状態をお伺いして超急性期病院での治療が必要だと判断する状況以外は、急患をできる限り受け入

れるようお願いした。また、事務所会議において調達等についてコスト削減の意識を持って業務にあたるよう再度徹底した。

4月以降については、病院においては365日24時間救急医療に対応しているが、令和2年度からは、休日在宅当番医の一部であるが72回中24回を町立橘医院で受け持ち、大島郡医師会と協力体制をとることとなっている。

### 急患の対応について

**問** 休日・夜間は急患を断るイメージが町民に定着し、町民の町立病院への信頼度は高くない。昨年一年間の急患を断った回数を問う。

**答** 3病院合計で平日夜間が133件、休日が405件、合計538件。そのうち救急車からの依頼は平日夜間が73件、休日が161件、合計234件をお断りした。

なお、受け入れは平日夜間が350件、休日が747件、合計1,097件であり、一昨年と比べ約50件増加しており、できる限り急患の対応をしている。

しかしながら、当直業務は常勤の医師のみでは調整が難しいことから、山口大学等の外部医師に協力していただき業務を行っているため、専門外などの理由で急患の診療依頼のうち約33%をお断りしているのが現状である。

### 子供の診療について

**問** 子供が怪我をした保護者からの照会に対し、そもそも子供は診察しないと回答し断った事例があるが、あらゆる症状の子供に対しても今後もその方針なのか。

**答** 小児の診療については各医師の判断で行っている。

また、休日夜間は当直医が対応するが、小児の患者さんについては、状態が変わることが多く、専門外の場合はお断りしているのが現状である。お断りする場合は、診ていただけると他の医療機関を紹介するなど丁寧な対応をしていきたいと考えている。

### 患者輸送バスについて

**問** 乗車数に対し、現在のバスの大きさや運行計画は適切である

かと考えているのか。

**答** 3病院とも28人乗りのマイクログバスにより送迎を行っている。乗車率から見るとマイクログバスである必要性が少ないが、最多乗車人数で見ると満車の場合もある。今後、患者輸送バスの更新時には、車種についてよく検討していきたい。

運航については町立3医療施設が連携できるようにしていきたい。

### 患者輸送バスの各路線の平均乗車数 (乗車率)

東和病院	久賀・日良居方面	5.4人	(19.3%)
	佐連・沖家室方面	4.0人	(14.3%)
	和田・油宇方面	13.1人	(46.8%)
橘 病院	家房方面	4.9人	(17.5%)
	日良居方面	6.3人	(22.4%)
	深山方面	0.1人	(0.5%)
大島病院	家房方面	7.7人	(27.5%)
	屋代方面	4.6人	(16.6%)
	久賀方面	6.3人	(22.5%)